



地方創生のアイデアを発表する学生たち
(高知市本町5丁目の高知会館)

地方創生アイデア続々

高知市 県大グループ大賞

県内の高校生や大学「した影絵アートを発案生らが、地域活性化のした高知県立大学のアイデアを競う「高知アイデアコンテスト」が19日、高知市内で開催された。大賞には、空き家を生かすアイデアを競った。大賞に輝いた県大の4人組は、「地域を灯そう。空き家の影絵アートをイベント!!」と題して発表した。高知市内でも、地域によって空き家が増えている現状に着目。夜に御置瀬地区を歩くなどして、「か

個人・グループが発案した。アイデアやプラン力を競った。

それぞれが、地元の城跡を整備して観光の目玉にする▽自然を満喫するキャンプを兼ねた森林セラピーなどで県外客を呼び込む▽コンビニ電車を走らせて公共交通を盛り上げる▽などの案を披露。経

済産業省の職員やシスチーム開発会社の社長らが審査した。

大賞に輝いた県大の4人組は、「地域を灯そう。空き家の影絵アートをイベント!!」と題して発表した。高知市内でも、地域によって空き家が増えている現状に着目。夜に御置瀬地区を歩くなどして、「か

つて誰かが住んでいた家が輝けば、地域の人も昔を思い出して喜んでくれるのでは」と考えたという。

リーダーの3年、中内優加里さん(21)は「ゼミのテーマも地域づくり。今回の経験も生かして、卒論に取り組みたい」と受賞を喜んだ。(玉置萌恵)